

加茂にカモン！



## 新たな船出！魅力発信！

### 地域の元気づくりを応援！

いま地域では、人口減少・高齢化・若者の減少・耕作放棄地の増加など、様々な課題が山積している。山形県では、市町村や地域住民が主体となって課題解決を目指す地域を対象に、地域づくりに関した様々なお手伝いを行っている。

具体的には、市町村や地域から相談を受けた県は、地域づくりの専門家「山形県農山漁村地域づくりプランナー」（以下地域づくりプランナー）を現場に派遣し、関係する皆さんから聴き取りしながら、地域の現状診断・地域内での話し合い・地域振興に向けた計画づくりなどを応援してきた。地域をコーディネートできる人材を育成し、現在 17 名が地域づくりプランナーとして認定を受けている。

### 鶴岡市加茂地区を応援！

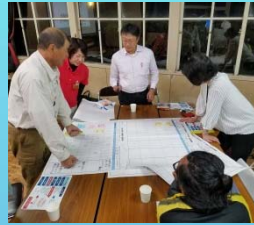
平成 29 年、クラゲ水族館のある鶴岡市加茂地区では、小学校がなくなり、若者の流出と少子高齢化に歯止めが効かず、「これからの加茂が不安！」という雰囲気漂っていた。その時の加茂地区には、地域が向かうべき理想のイメージが無く、地域や住民が満足を得るための行動計画も無かった。鶴岡市を通じて県へ相談があり、自治振興会が主体となって「加茂の活き生きを創るためのヒント」と題して研修会を開催した。この研修会では地域づくりプランナーが講師を務め、加茂地区の現状分析の結果を報告するとともに、課題解決につなぐ他地区の事例を交えながら、今動けば加茂地区の現状は変えられるというヒントを得た。研修会終了後には「加茂ブランドデザイン検討委員会」を立ち上げ、加茂ビジョンづくりに向け本格的に取り組みを開始した。地域づくりプランナーは加茂地区と鶴岡市と相談しながら、地区の現状に合わせた話し合いを進め、このたび、住民主体で羅針盤となる「加茂ビジョン」を完成させ船出した。



**まずはカモン！**  
 ビジョンをもとに  
 加茂の新たな  
 船出！



**ビジョンの完成！！**  
 みんなが納得する形で取り組  
 みの方向性、事業計画をまと  
 め、ビジョンを完成！



**チームごとにワークショップ開催・実践活動**  
 整理した提案をもとにチームを結成。チームごと  
 に課題解決のための行動を検討。  
 「やってみねば」、と出てきた行動を実践するチ  
 ームも！



**検討委員会立ち上げ、ワークショップ開催**

地域の多彩な人材を集め検討委員会を立ち上げ！  
 委員会では、加茂の強み、弱み等を抽出し、強みは「のば  
 す」、弱みは「改善する」提案を整理。

**研修会を開催してキックオフ**

ビジョンを作成していくことを決め、「加茂の活き生  
 きを創るためのヒント」と題して研修会を開催  
 まずは想いをひとつに。



**加茂にはビジョンがない、いっしょになれない加茂？**

人口減少等により今後に不安。元気な地域には、ビジョンがあ  
 り、地域が活き生き！



加茂港 赤灯台

**地域づくりプランナーからのひとこえ**



地域づくりプランナー  
 No.014 阿部志美  
 庄内総合支庁  
 農村計画課

地域づくりには「活き生き」と「生業づくり」が大事なのよ。  
 100の地域が有れば、100の地域づくりが有んなよ。  
 まずは市町村や総合支庁の担当者まで、気軽に相談してみで  
 おごやえ。

地域の課題は、どごも同じだがもしんねけど、その解決方  
 法は地域ごとに違うなやの〜。プランナー同士のネットワ  
 ークも使って、地域の皆さんに合った方法を探り、実践す  
 っはげって、気軽に相談してみでの〜。



地域づくりプランナー  
 No.005 高橋信博  
 置賜総合支庁  
 農村計画課